

令和7年度 第8学年 技術・家庭（技術分野） 年間指導計画及び評価規準

学期	月	時数	単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4		C「エネルギー変換の技術」			
			1「生活や社会を支えるエネルギー変換の技術」	・生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能ができる。	・生活や社会の中からエネルギー変換の技術に関わる問題を見いだして課題を設定して解決することができる。	・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実にエネルギー変換の技術を工夫し実践的な態度で創造しようとしている。
	5		(1) 電気、運動、熱の特性、基礎的な技術の仕組み	・エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解できる。	・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取ることができる。	・進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身につけようとする。
	12		(2) 技術に込められた問題解決の工夫	・電気についての化学的な原理や法則が理解できる。	・エネルギー変換の技術の見方や考え方の気づきができる。	(ワークシート、製作実習、製作品、レポート、評価カード)
	6		(3) 保守点検、事故防止、発電・送電 <実習：テブ ルタップ の組立>	・発電に関する知識を理解し、発電方法や種類の特性を理解し、電気の経路などが理解できる。	・エネルギー変換の問題を見いだして課題を設定し解決することができる。(ワークシート、レポート、実習計画、テスト)	
	7		2「エネルギー変換の技術による問題の解決」	・電気の安全な使い方やエネルギー変換の種類や方法が理解できる。		
			(1) 問題の発見。改題の設定	・安全で適切な製作、実装、点検及び調整等ができる。		
			(2) 設計・計画の立案	(ワークシート、製作実習、レポート、テスト)		
			(3) 回路図や製作図のまとめ			
2	9		(4) 製作品の製作による問題解決 <実習：L E Dライトの製作>	・製作に必要な部品のハンダ付けの要領が理解できる。	・材料表や工程表、回路図の作成を工夫してまとめることができる。	・工程表について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとする。
			・材料表や工程表、回路図の作成	・工程表や回路図から要領よく的確に部品の取り付けができる。	・製作品の作業評価を工夫して課題解決できるようにまとめられる。	・工程表の製作手順にそって、進んで製作に取り組もうとする。
			・部品のハンダ付け	・製作の点検（点灯テスト）や製作の調整が的確にできる。	(ワークシート、製作実習、製作品、レポート)	・作業評価を通して、主体的に自己評価しようとする。
			・組立点検、点灯テスト	・製作に必要な工具や機械の機能や特性を理解することができる。		(ワークシート、工程表、製作実習、製作品、評価カード)
			・完成と評価	・工具や機械を適切に使用することができる。		
			3 社会の発展とエネルギー変換の技術	・生活や社会に果たす役割や影響に基づいたエネルギー変換の技術の概念が理解できる。(ワークシート、テスト)	・生活や社会、環境に関する技術についてまとめることができる。	・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとする。(ワークシート、レポート)
			・新しい技術活用や技術開発、将来の展望		(ワークシート、レポート)	
2	10	16	B「生物育成の技術」			
			1「生活や社会を支える生物育成の技術」	・生活や社会で利用されている生物育成の技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能を身につけることができる。	・生活や社会の中から生物育成の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決することができる。	・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に生物育成の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度で取り組もうとする。
			(1) 生物の特性、基礎的な技術の仕組み	・生物育成と生活や社会、環境との関わりについて理解できる。	・生物育成の技術に込められた工夫を読み取ることができる。	・生物育成の基礎的な知識を理解し、主体的な態度で学習に取り組もうとする。
			(2) 技術に込められた問題解決の工夫	・自然環境が生物に与える影響や知識を身につけることができる。	・生物育成の技術の見方、考え方について気付くことができる。	・進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身につけようとする。
			2「生物育成の技術による問題の解決」	・作物の栽培について基礎的な知識を身につけ、栽培計画を立案して栽培方法が理解できる。(ワークシート、レポート、栽培計画、テスト)	(ワークシート、レポート)	・自らの課題解決とその過程を振り返り、よりよく改善や修正をしようとする。
	11		<ミニトマトの水耕栽培>	・作物の栽培計画にそって、作物の育成技術が理解でき、栽培技術を身につけることができる。	・ミニトマトの栽培計画についての課題を自ら設定し、栽培計画の立案ができる。(栽培計画、栽培実習、栽培記録、レポート)	(ワークシート、レポート、栽培実習、栽培記録、評価カード、テスト)
			①栽培ごよみ	・生物の成長についての科学的な原理や法則を理解できる。		
			②栽培要因と栽培の技術	・安全で適切な栽培ができる。	・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切に選択、管理、運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりすることができる。(ワークシート、レポート、テスト)	・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造していこうとする。(ワークシート、レポート)
			③種まき	(ワークシート、栽培実習、栽培記録、テスト)		
			④水耕栽培による管理	・生活や社会に果たす役割や影響に基づいた生物育成の技術の概念が理解できる。(ワークシート、テスト)		
			⑤収穫			
			⑥実習の振り返りとまとめ			
			3「社会の発展と生物育成の技術」			
			新しい技術活用や技術開発、将来の展望			
3	1		D「情報の技術」			
			1 情報の技術の原理・法則と仕組み	・生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能・情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解できる。	・生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を見いだして課題を設定して解決することができる。	・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しようとする。
			(1) 情報の技術とは何だろう	・情報の表現や記録ができる仕組みを理解できる。		
			(2) 情報のデジタル化	・情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係について理解できる。	・情報の技術の問題を見いだして、その課題を設定して調べることができる。(ワークシート、レポート、テスト)	・主体的に情報の技術について考えようとしている。
			(3) 情報通信ネットワークの仕組み	・情報通信ネットワークの構成について理解できる。		(ワークシート、レポート、評価カード)
	2		(4) 安全に使用するための情報モラル	・情報通信ネットワーク上での用法を利用する仕組みについて理解できる。	・製作を通して、自らの課題を見いだすことができる。	・情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付けようとしている。
	7		(5) 安全に使用するための情報セキュリティ	・情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる知識を身に付けている。	・情報の技術の課題を見だし、その課題を解決することができる。	・情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けようとしている。(ワークシート、プログラミング実習、テスト)
			(6) 情報の技術の工夫を読み取ろう	・情報セキュリティの基本的な知識について理解できる。	(ワークシート、プログラミング実習)	
			<簡単なプログラミング体験>	(ワークシート、レポート、プログラミング実習、テスト)		
	3					
	35					